

文化庁「日本博 2.0」事業「文化体験岡崎」

## 外国人向けモニターツアーご参加のお願い

## ■ 趣旨

このツアーは文化庁「日本博 2.0」事業としまして、散策と文化体験で京都“岡崎”の満足度向上を目指して企画。今回は効果検証として外国人によるモニターツアーを実施致します。

日本庭園と京舞、料亭での京料理、能楽堂での能鑑賞と体験会、日本美術館での茶の湯体験と、丸一日を通して岡崎を楽しむ特別なプランとなっています。皆様のご参加をお願い致します。

## ■ モニターツアー実施日（※ツアー行程は別紙をご参照下さい）

2024年12月18日（水） 10時～19時（※当日は「無鄰菴」前に集合）

## ■ モニターツアーご招待

京都市国際交流協会から

10～15名をご招待

（※希望多数の場合は抽選）



## ■ モニターツアー内容

ホームページにて専用サイトの下記 URL または QR コードよりアクセス頂き、ご確認ください。

【日本語サイト】

・ URL <https://okazaki-culture-walk.com/>

・ QR コード



【英語サイト】

<https://okazaki-culture-walk.com/en/>



また当日はご参加の皆さま全員に特性のイラストマップを配布させていただきます。ツアー中も専用サイトとリンクする形で内容をご確認頂けます。

## ■ 受付窓口

希望の方のご連絡先（※メールアドレス）に担当の江南からご連絡させていただきます。

・メールアドレス [enami@actio.email](mailto:enami@actio.email)

## ■ お願い事項

本年度の事業は効果検証が目的であるため、ご参加の皆様にはアンケートのご協力をお願いしております。

また運営手順の検証を目的としまして、江南より専用サイトの「参加エントリー」にご記入をお願いする場合があります。その際も江南よりご連絡させていただきます。

最後に今回のモニターツアーは記録ビデオとして撮影させていただきます。今後は公式サイトで活用させて頂く場合もございます。ご理解の上、ご協力をお願い致します。

【特記】 下段画像は参考イメージです。

・ AM 10:00 集合「無鄰菴」前

↓

・ AM 10:00～12:00 「無鄰菴」(※庭園／母屋2階貸し切りを10名×2グループで入替進行)

↓ ↳ 日本庭園見学ツアー + 英語ガイド

↓ ↳ 母屋&京舞鑑賞

↓ (祇園甲部の舞妓 約15分)

↓ ↳ 抹茶+お茶菓子サービス



(移動)

↓

・ PM 12:00～13:00 「瓢亭」(※別館の席予約)

↓ ↳ 昼食

↓ ↳ 松花堂弁当+お飲み物



↓

↓

(移動)：「平安神宮」「琵琶湖疏水」等、散策

↓

↓

↓

↓



・ PM 13:30～15:00 「京都観世会館」(※貸し切り)

↓ ↳ 観世流能楽鑑賞&体験

↓ + 英語ガイド

↓

↓



(移動)

↓

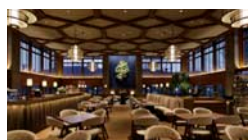
・ PM 15:30～17:30 「京都モダンテラス」(※席予約)

↓ ↳ 休憩&自由散策

↓ ↳ ドリンク&デザートサービス

↓

↓



(移動)

↓

・ PM 17:30～19:00 「細見美術館」(※閉館後貸し切り)

↓ ↳ 館内ツアー+英語ガイド (30分)

↓ ↳ エンターテインメント“茶の湯”体験+英語ガイド (45分)

↓ ↳ アリアコンサート (15分)

↓

↓



・ PM 19:00：解散

【ツアー実施形態】

- ・ 英語ガイド付きパッケージツアー形式 @20名/1日
- ・ ツアーには英語スタッフが随行
- ・ 次年度「実行委員会」の設立を見据えて本年度は「運営事務局」を開設しての実施対応

## ● 施設・実演家団体紹介

### 1) 無鄰菴



無鄰菴は、明治 27 年（1894）～ 29（1896）年に造営された明治・大正時代の政治家山縣有朋の別荘です。庭園と母屋・洋館・茶室の 3 つの建物によって構成されており、庭園は施主山縣有朋の指示に基づいて、七代目小川治兵衛により作庭された近代日本庭園の傑作。それまでの池を海に、岩を島に見立てる象徴主義的な庭園から、里山の風景や小川そのもののような躍動的な流れをもつ自然主義的な新しい庭園観により造営されました。南禅寺界限別荘群の中で唯一通年公開されている庭園で、昭和 26 年（1951 年）に国の名勝に指定されています。洋館の 2 階には、伊藤博文らと山縣有朋が日露開戦前の外交方針について話し合った「無鄰菴会議」に使われた部屋があり、当日の様子を今に伝えます。

（※紹介文は公式サイトより引用 画像 © 植彌加藤造園）

### 2) 瓢亭（※予定）



瓢亭は南禅寺境内の門番所を兼ね、南禅寺総門外松林茶店（腰掛茶屋）として庵を結び、400 年余りの歴史を育んでまいりました。和敬清寂を心とし、茶懐石を基礎としながらも伝統と革新を繰り返し、今日に至ります。季節ごとに趣を変える茶室にて、名物「瓢亭玉子」をはじめ、夏の「朝がゆ」、冬の「鶉がゆ」など、不易流行の京料理をお楽しみいただけます。（中略）別館は、椅子テーブル席のゆったりとした空間です。庭を取り囲むように建てられており、年間通して朝がゆや松花堂弁当をお楽しみいただけます。

（※紹介文 / 画像とも公式サイトより引用）

### 3) 公益社団法人京都観世会（京都観世会館）



京都観世会の能舞台は（中略）終戦直前の昭和 20 年 4 月 15 日、強制疎開の憂き目に遭いました。しかし先人たちの「自分たちの能舞台で能を舞いたい」という強い願いと、ご理解いただいたたいへん多くの方々のご尽力で、昭和 33 年 3 月 25 日、現在の地に京都観世会館を築くことができました。（中略）能舞台は総檜造り、鏡板の老松は京都を代表する日本画家 堂本印象画伯の手によるものです。金と緑青を多用した画風は、当時、モダンで斬新と称されました。六十年の歳月を経て舞台にしっくりとなじみ、さらに新たな味わいを醸しています。

（※紹介文 / 画像とも公式サイトより引用）

#### 4) 公益財団法人片山家能楽・京舞保存財団



片山家は、江戸時代の明和期(1764～1772)より、京都における「能の家」として、不動の位置を占めております。観世流のシテ方として、無形の文化財を守ってきただけでなく、能面や能装束といった有形の文化財も明和期以来250年近く保存してまいりました。平成8年に財団を設立し、能面や能装束を基本財産として登録し、財団により管理するようになりました。また、当財団は能楽だけでなく、井上流京舞の進展と交流も目的に掲げ、舞の衣裳や道具も所蔵し、稽古場も共有しております。(後略) (※紹介文は公式サイトより引用 画像は公益財団法人片山家能楽・京舞保存財団よりご提供)

#### 5) 京都モダンテラス



【京都ならではの四季折々の風景と旬食材をお楽しみいただけるカフェ&レストラン】日本を代表するモダンイズム建築ならではの佇まいと陽の光が心地よい店内とテラス席で、悠久の時を重ねる京都の四季と文化を感じながらお食事やお酒をお楽しみいただけます。芳しいスモークの香りが食欲を誘う「薪焼き」による野菜・肉のグリル料理をはじめ、パスタなど、和・洋織り交ぜたデザートやお飲み物まで、作り手のこだわりと京都の旬をご堪能いただけるメニューの数々をご用意しています。(後略) (※紹介文/画像とも公式サイトより引用)

#### 6) 細見美術館



実業家・日本美術コレクター、細見古香庵(1901-79)に始まる細見家三代の蒐集品を基礎として、1998年に開館しました。コレクションは神道・仏教美術から茶の湯の美術、琳派・伊藤若冲といった江戸絵画など日本美術のほとんどすべての分野・時代を網羅するものです。美術館ではこれらを中心に多彩な企画展を開催。(中略) また、美術を愛する多くの人々が集う場所として親しんで頂けるよう館内には茶室・ショップ・カフェも併設しています。

(※紹介文は公式サイトより引用 左画像は「細見美術館」所有、右画像はアリアコンサート出演者)